

事業所名 グループホーム カーサハーモニカ
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月 3日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 理学療法士
資格・経験 障害児施設勤務(20年)、理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・岡山市の東部に位置し、近辺にはぶどうや梅の畑、小さな神社や池などもある自然を身近に感じられる環境の中で入居者は生活している。
- ・同一敷地内に基幹として特別養護老人ホームがあり、通所介護サービスや訪問介護サービス、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、介護付き有料老人ホームなどを併せた福祉の総合支援拠点となっている。さらに、法人代表者が医療機関を運営しており、入居者の福祉・医療及び健康面での安心を提供している。
- ・地域の中で誰でもが利用できる事業所をめざしており、入居者・家族の負担が少なくなるよう、利用料金を低く設定している。
- ・入居者のその人らしさを大切に、入居者が自分のペースでゆったりと暮らせることを心がけており、入居者の安全に配慮しながら、自分のスタイルで暮らせるように支援している。
- ・職員は、サービスの質の向上や職員のレベルアップに意欲的に取り組んでおり、様々な研修や法人内の委員会活動を活かして自己研鑽に努め、入居者に家庭的な優しい環境で、自分らしく生活してもらえるように取り組んでいる。
- ・各居室にはトイレが設置されており、プライバシーへの配慮がなされている。建物が明るく、居間には淡いピンクやパープルのソファや椅子、畳のコーナーがあり、自分の好きな場所でゆっくりとくつろげる。掃除も行き届いており、清潔でゆっくりと過ごせる住環境を提供している。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特に改善の余地があると思われる点はない。

今後も、入居者一人ひとりとのかかわりを大切にした支援を継続して提供していきたいことを期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「お年寄りに優しいグループホーム」を目標として、温かく家庭的な雰囲気の中で日々暮らせるよう、入居者の心に寄り添った支援をめざしている。 ・入居者それぞれの今までの生活や出来る事を日々の暮らしの中で活かせるよう、入居者の求めていることや身体状態等を把握し、入居者のペースに合った生活の中で、楽しみや喜びを感じてもらえるように支援している。 ・地域との交流を図り、お互いに助け合いながら成長していける「生活の場」作りをめざしている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での生活による不安やストレス等に配慮し、入居者が独りになれたり、気の合った入居者同士で過ごせる場所等をいくつか設置し、その時々に応じて、入居者が無理なく落ち着いて過ごせる空間作りを行っている。 ・入居者の要望に可能な限り応えられるよう、外出の機会を増やし、気分転換や心身の活性につながるよう支援している。 ・職員は、常に笑顔で穏やかに対応しており、入居者が安心して暮らせるよう、入居者と共に過ごし、お互いが協働しながら和やかに生活できる場作りを行っている。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が出来る事や得意な事を生活の中で活かせるように心がけており、家事を手伝う方、掃除する方、洗濯物をたたむ方など、思い思いに楽しく取り組めるように支援している。 ・共有のトイレを使用する時には、職員はドアの外で待つようにしており、入居者の羞恥心やプライバシーに配慮した対応を心がけている。 ・居室には鍵があり、入居者が一人でゆっくりと過ごす時間を大切にしている。 ・個人の情報や重要な書類は、事務室で保管して管理しており、情報が漏洩しないよう留意している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・内部・外部の研修に参加する機会が多く、全職員で介護水準のレベルアップに努めている。法人全体で組織されている事故防止、感染症対策、身体拘束廃止などの各委員会活動と併せ、職員の自己研鑽の場が提供されており、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいる。 ・日頃より、危機管理意識を持ち、「インシデント・アクシデント報告書」を作成し、検討している。事故発生時には速やかに対応し、問題点についてその原因を探り、今後の対応を話し合い、再発防止に努めている。 		